

助け合い・支え合いのまちづくりをめざして

■【その23】大生手「のみにケーション」の活動紹介

平成29年6月「高齢者見守りネットワーク情報交換会」では、75歳以上の住民が多く、他の地区のように大生手にもみんなが集まれる場所があればいいなどの話になりました。これがきっかけとなり地区の総会で「のみに会をしよう！」との声があがり、平成30年6月から「のみにケーション」として月1回の集まりをはじめました。

毎月第4土曜日、16時から18時30分頃まで会館に集まっています。参加者は60代から80代の男性6～7人程ですが、男性の参加者が多いのが特徴です。会費はなく、自分で飲む分や食べる分は自分で持ってきてます。差し入れがありみんなで鍋をした事もあります。カラオケを行った時には女性の参加もあり、ぜひ女性にもどんどん参加してほしいと思っています。

この「のみにケーション」に集まり情報交換をしたり笑いあい、楽しく心のリフレッシュをはかっています。

また、今年度は町の補助金を活用し、地区での敬老会を行いました。75歳以上の方を対象にしたところ、気を遣わずに参加できると対象者のうち半分以上が集まり交流を深めました。農家が多く、農作業ができるのも元気な証拠です。これからも何気なく声をかけ合ったり、一人暮らしの人の家に電気が付いているか等気かけ合ったりしながら、この地区で暮らしていきたいと思っています。



★3月17日(火)「かようカフェ」中止のお知らせ

3月17日(火)に予定していた「かようカフェ」(会場:はいから倶楽部)は、都合により中止とします。ご注意ください。

お問い合わせ先 小坂町地域包括支援センター (TEL29-2950)



アメリカの二院制

アメリカの連邦議会は上院と下院に分かれています。新しい法律は必ず両院に公認を得られなければいけません。けれど、なぜこんな複雑な政体なのでしょう。

実は、建国時に政体について激しい論争が行われました。当時のアメリカは国というより植民地の連邦だったので、植民地の間にはまだかなりの不信感がありました。多い人口の州は議会での議席配分を人口によって決めると強調しました。人口が多いほど議席数が多くなるため、この制度は大きい植民地に有利になります。もちろん少ない人口の州がそれに反対して、大きい植民地に支配されないよう、人口を関係なく各州に同じ議席数を与えると強調しました。

ようやく至ったのは二院制の妥協でした。上院は100議席で、各州が2人を持ちます。下院は435議席で、人口によって配分します。なので下院では、

一番人口の多いカリフォルニア州の53人に対して、一番人口の少ないワイオミング州にはたった1人だけです。しかし、上院に両州も2人ずつを持っています。国民の意思に従うべき下院の議員は大体自分の選挙区への影響しか考えないため、下院の行動は基本早いです。その反面、新法律の連邦全体への影響を考えるべき上院の行動は遅くなります。これは下院によって国民の意思が法律に反映されながら、上院によって無謀な行為が抑えられるようになると言われています。

アメリカは二大政党制ですが、上院と下院を支配する政党が異なる場合が多くあります。この制度の利点は新しい法律を作るには両院の協力が必要なため、全ての意見が聞かれるチャンスがあります。その反面、どちらかの議院を支配する政党が協力をしない限り、立法は進められません。昔は両政党が協力するのが基本でしたが、近年政党政治が政策よりも優先される状況になったため、そういうケースが多くなってしまいました。

